

〈研修会報告〉

北部支部研修会『一休園監修』あなただけの筆を作りましょう』に参加して

鞍手竜徳高校 長坂 邦代

十一月二日(水)に鞍手高校書道教室にて北部支部研修会が行われました。今回の内容が筆作りの体験と知ったとき、久しぶりにワクワクし、この日が来るのを心待ちにしていました。

初めに、一休園の水野さんより、熊野筆の歴史や原材料についてのお話を伺いました。コロナや円安等の関係で材料が入手困難であるという切実な現状を話されていたことが強く心に残りました。

次に、筆作りの説明をしていただき、体験をしました。筆作りは、選毛から銘彫刻までの十二もの工程があり、その中の毛を混ぜる体験をしました。五種類の毛をそれぞれ掌でほぐした後、それらを合わせてまんべんなく混ぜました。トランプをくるときのように、中ほどを抜いて上にかぶせていくと良いと教わりました。ただ混ぜるだけではなく、毛先をある程度揃えなければならぬため、苦戦しました。一部だけでも時間のかかる難しい作業であり、改めて職人さんのすばらしさを感じました。最後は、混ぜた毛を半紙で包み、筆管に彫っていたく文字(言葉)を書いて提出しました。

後日、上海堂さんが出来上がった筆を持って来てくださいました。自分が混ぜた毛だと思うと、一層愛着がわきました。今度、その筆を使って作品を書いてみたいと思っています。

今回の講話や体験を通して筆に関することをたくさん学ぶことができ、



大変有意義な研修会でした。一つ一つ時間をかけて丁寧に作ってくださいている職人さんたちへの感謝の気持ちをもって、書道に真剣に取り組んでいきたいです。また、今回学んだことを生徒たちにも伝えていき、書道に向き合う姿勢や、道具を大切にすることを育てていきたいです。最後になりましたが、一休園の水野さん、上海堂さん、運営に携わってくださった先生方、本当にありがとうございました。